2018後期 　　 研究授業と指導案の書き方 　　　　　担当　堀部　和経

【数学科教育法１２３４】―――【研究授業実施要領】―――――――

１　担当する所をよく理解する。

２　（例を参考にして）授業指導案を作る。

Ａ４用紙２枚くらい、WORDで作る。

３　指導案を添付ファイルにつて、メールで堀部まで送る。

　　担当日の７日くらい前までにメールを送り、添削を受ける。

（赤ペン手書きＰＤＦで、返送します。）

４　添削がＯＫになったら、人数（プラス１枚）枚を本部２階の施設で印刷しておく。

５　担当当日は授業指導案を配布して研究授業を開始。

人数が多い場合などは、１人２０分で、堀部が途中ストップを出します。（悪しからず。）相互評価の時間を入れても、３０分以内とします。

６　研究授業の生徒（役）から意見を聞く。

【評価について】――――――――――――――――――――――――

事前の指導案の作成と研究授業の態度で決める。

最初は細かなことも注意する。

学校（高校・中学）の授業なので聞く態度も評価の対象とする。

服装は、男子のだらしないズボン、女子のミニスカート、はダメ。

研究授業と試験の成績を、ほぼ５０対５０で評価します。

【WORDの数式について】――――――――――――――――――――

画面の上、左から２番目［挿入］をクリックし、［オブジェクト］クリックし、［オブジェクトの挿入］で、［数式処理システム※］を使って数式を記述してください。

【堀部ＷＥＢ－ＳＩＴＥ・Ｍａｉｌ】―――――――――――――――――

　　　http://horibe.jp

 kazunori@horibe.jp

【メ　モ】―――――――――――――――――――――――――――――――